

皆様のご要望を一般質問で取り上げました

「豊島新時代へ 人が主役の魅力あるまちに」



【第2回定例会】

問：高際区長が目指される「人にやさしいまち」とは、どのようなものであるのか。

答：このまちに暮らし、働き、活動する「ひと」を主役に「としまの未来」をつくり、誰も孤立させない、寄り添い合える「人にやさしい豊島区」をつくっていきたい。

問：産後ドゥーラの活用や担い手養成について区の考えは。

答：資格取得費用の一部助成、取得資格を本区で活用して頂く方法を含め検討。

問：若者の提案を区政に活かせる仕組みづくりを。

答：先進自治体の取り組みを検証し、若者の意見を区政へ反映させていく方法を検討する。

【第3回定例会】

問：児童養護施設退所者等への支援の検討を。

答：自立に向け一人暮らしを始める支度金や奨学金制度など、経済的支援を検討する。

問：産後ケアにおいて、区内に宿泊できる施設及びデイ施設の設置検討を。

答：宿泊型施設の設置については、1箇所の施設と調整中。デイ施設については早期実現に向け検討する。

問：公衆浴場の減少に伴い入浴にお困りの高齢者に対し、入浴特化型デイサービスモデル事業を実施したが今後の施策展開は。

答：今後の事業化へ向け、事業者が安全に事業実施できる人員配置等を確保し、安定的な運営ができる補助・委託等の事業スキームを検討する。



問：池袋駅構内や東西デッキなど駅を超えた回遊性に向けた今後の取り組みは。

答：北デッキは東武街区での受口整備を検討。南デッキは、既にメトロポリタンプラザなどに受口ができていますが、地下通路を含む駅構内の再整備とともに、関係施設に係る動向を見ながら関係者に要請する。

【第4回定例会】

問：国は今後、物価高対策のための重点支援地方交付金を増額するとしている。その場合の用途について区の考えは。

答：これまで、日常生活に不可欠で公共性の高い事業のうち、利用者に値上げ分を転嫁しにくい分野の事業者等に対する支援を通じて、区民の生活を守る取り組みを行ってきた。この方針を基本としつつ、新たな事業の実施等も含め早期に検討する。

問：保護者の就労の有無に関わらず定期的に保育園を利用できる「子どもだれでも通園制度」のモデル事業に参加し、よい制度となるよう検証すべきと考えるが、いかがか。

答：令和6年度の参加を検討する。

問：新池袋保健所での具体的な女性の検討支援に機能の検討状況は。

答：池袋保健所の移転については「女性の健康支援の充実」を柱の1つとし、女性特有の健康課題や健診の結果などを気軽に相談できる窓口を開設し、女性特有のがんや妊娠・出産に関する情報コーナーやご自身の健康状態を測定できる機器を設置予定。

